

論文番号 256

担当

札幌医科大学 医学部 薬理学講座

題名 (原題/訳)

The role of selective serotonin reuptake inhibitors in reducing alcohol consumption.

アルコール消費の減少における選択的セロトニン再取り込み阻害薬の役割

執筆者

Naranjo CA, Knoke DM.

掲載誌 (番号又は発行年月日)

J Clin Psychiatry 62(Suppl 20):18-25 (2001)

キーワード

アルコール依存症、アルコール消費量、選択的セロトニン再取り込み阻害薬 (SSRI)

要旨

前臨床および臨床研究の結果は、セロトニン神経系の活動性とアルコール消費との間には逆相関関係があることを示している。これまでに、選択的セロトニン再取り込み阻害薬 (SSRI) であるフルオキセチン、シタロプラム、フルボキサミンの、アルコール依存症患者のアルコール消費量を減少させる効果について検討されてきた。SSRI に対する反応性の違いは個々の患者で大きく異なり、アルコール消費量減少の範囲は 10% から 70% 以上にまで異なる。いくつかの要因 (性差・アルコール依存症の種類・飲酒程度など) が SSRI の治療効果に影響を与えていると思われる。SSRI での治療に対する患者の反応性を予想させる要因を同定することは、アルコール依存症者の SSRI による治療をより効果的なものにするための基礎的な事柄である。この論文はこれまでの臨床研究を概説・論証し、SSRI の作用機序について考察し、アルコール依存症者の SSRI での治療に対する反応性を推定するためのモデルについて記述している。